	塙　中	11月24日
◦石川教育事務所	須釜小・須釜中	8月17・18日 9月6日
◦田村教育事務所	船引中・常葉小 常葉中	8月17・18日 11月7日
◦南会津教育事務所	大宮小・田島中 桧沢中	8月28・29日 11月14日
◦北会津教育事務所	城北小 若松一中	8月23・24日 10月26日
◦耶麻教育事務所	堂島小・塩川中	8月23・24日 11月14日
◦両沼教育事務所	坂下一中・笈川小	8月23・24日 11月14日
◦いわき教育事務所	平三中	8月30・31日 11月14日
◦双葉教育事務所	富岡二小	8月30・31日 10月12日
◦相馬教育事務所	新地小・尚英中	8月30・31日 10月12日

⑤ 反　　省

◦夏期休業中に実施した教育事務所があったが、各学校から好評であった。

◦授業研究、参加者の実践報告等をおりこんだ計画はきわめて効果的であった。

◦主題は、よく検討して具体的な内容にするよう努力したので、日常の実践とむすびつき、効果的であった。

◦参加者の研究発表等も取り入れた教育事務所があったが、効果的であった。

(6) 道徳教育研究学校の指定

次の学校が文部省から道徳教究学校として指定をうけた。

◦研究主題「道徳の時間における指導法の研究」
　福島県二本松市立北小学校　校長　鈴木九二八

◦研究主題「授業のねらいにせまる資料の再構成とその活用」
　福島県郡山市立行健小学校　校長　堀内　鉄雄

◦研究主題「道徳の時間の効果的な指導過程の研究」
　福島県双葉郡富岡町立富岡第二小学校
　校長　猪狩　　勇

◦研究主題「補充・深化・統合などの観点からみた全体計画の具体化」
　福島県伊達郡梁川町立梁川中学校
　校長　鈴木　正一

◦研究主題「民主的社会生活における基本的行動様式の指導をどのようにするか。
　福島県南会津郡田島町立桧沢中学校
　校長　河原田　勉

◦研究主題「道徳的態度・実践的意欲を養うための指導をどのように指導したらよいか」
　福島県田村郡常葉町立常葉中学校
　校長　藤田　克巳

次の学校を県教育委員会指定の道徳教育研究学校に指定し、実践的研究の推進をはかった。

◦研究主題「道徳の時間の効果的な指導法の研究」
　福島県耶麻郡塩川町立堂島小学校
　校長　小林　太郎

◦研究主題「道徳の時間の指導過程の研究」
　福島県河沼郡湯川村立笈川小学校
　校長　村岡　謙一

◦研究主題「道徳的自覚をたしかめる指導法の研究」
　福島県石川郡玉川村立須釜中学校
　校長　高橋　六郎

◦研究主題「道徳の時間の充実をはかり、実践力をたかめる指導」
　福島県いわき市立平第三中学校
　校長　吉田　治蔵

(7) 高等学校社会科倫理・社会講習会の開催

① 目　　的

高等学校社会科倫理・社会に関する内容および指導法について、担当教員に対して研修を行ない、その指導力の向上をはかる。

② 期日および会場

7月3日・4日（2日間）　福島県立福島高等学校

③ 内　　容

◦講義（東洋・日本の倫理思想・パーソナリティーの形成等）、◦授業研究、◦研究協議、◦その他

生　徒　指　導

昭和42年度県教育委員会の努力目標に「児童生徒の学力の向上をはかり、強い意志、豊かな知性・情操を身につけた青少年を育成する。」とあり、この大目標をふまえて、42年度の学校指導の重点の中に「のぞましい学級経営を推進し、全人的教育を充実する」とあげられ、これらの目標を達成するために、次の事項に重点をおいて生徒指導の充実をはかった。

(1) 生徒指導についての熱意や共通理解を深めること。

(2) 生徒指導の体制を整え、施設を整備して適切な運営をはかること。

(3) 生徒指導の計画を充実すること。

(4) 生徒指導の方法、技術の向上を図ること。

(5) 児童生徒の健全育成、保護育成の諸機関、諸団体との連絡協化を充実すること。

これらの重点事項を促進するために次の事業を実施し、その効果を高めるよう努力した。

(1) 指導主事活動

県内5地区に次の生徒指導主事を設置し、生徒指導の充実にあたった。

① 任　　務

高等学校における生徒指導の改善向上を図るため、生徒指導について指導助言を行ない、必要に応じて小学校、中学校およびその他の関係機関と連絡をとるとともに、その要請に応じ、指導助言にあたる。

担当地区	設置学校	生徒指導主事名
県北	福島西女子高校	石川　進
県南	郡山商業高校	小島善一
会津	会津高等学校	小野　尚
いわき	内郷高等学校	成田政栄
相馬	相馬女子高校	鈴木琢磨